

アチョ～

はいしゃさんの

女神さま

毎日が刺激的!



①コスト意識をもとう!

文・小原啓子(歯科衛生士, マネジメントマスター)
イラスト・真砂 武

皆さん、お久しぶりです。これから1年間、このコラムを担当することになりました歯科衛生士の小原啓子です。よろしくお願ひします。

私が『はいしゃさんのアチョ～女神さま』(医歯薬出版)という本を出してから、早11年。ずっと歯科衛生士という仕事をいろいろな角度から楽しんできましたが、ここ数年はマネジメントを勉強してきたので、ちょっと外の世界から、歯科界を見る経験をしてきました。

これが、勉強してみると驚きの連続。「ハ～」「う～ん」「へー」と、毎日うなったのでした。

私は、「キャリア発達勉強会」という会で異業種の人たちと勉強会を続けていますが、そのなかで歯科衛生士の特性を見つけ出しました。私たちは、ことあるごとに「患者さんのために」と言っているようなのです。その気持ちがあるからこそ、歯科衛生士としての勉強を続けていけるのですが、一般企業の人たちには「それだけでいいの?」って聞かれてしまいます。

どうも、私たちは「自分の働いている歯科医院のために」とは、言っていない。また、働いている組織に対する愛着が薄いようなのです。それだけでも結構ショックなのですが、「おい、スーパーのお惣菜コーナーのパートさんでも、スーパーのためにもっとコスト意識をもって仕事をしているぞ。そんなんでいいの?、歯科衛生士は」なんて言われる始末です。たしかにあんまり考えたことなかったな……経営感覚。

つまり、私たちには「患者満足 (CS: Customer Satisfaction)」と「自己啓発 (Self-development)」はあるのですが、「経営感覚 (Management Sense) = コスト意識」はスーパーのパートのおばちゃん以下のようなのです (パートのおばちゃん、失礼な言い方ですみません)。

歯科医療界が厳しい時代に突入したいま、医療スタッフにも、一般企業で求められる経営感覚が問われるようになるでしょう。

一般企業では、有能な経営者には優秀なマネジャーがいるといわれています。厳しい社会環境のなかで歯科医院が生き延びるには、歯科衛生士が「経営感覚をもったマネジャーとしての働き」をする時代が来たと考えています。

そこで、歯科衛生士を楽しみながら、あなたが輝いて仕事ができるように、このコーナーで応援していきたいと思ひます。

小原啓子(おぼらけいこ)

● 広島歯科衛生士専門学校卒業後、広島口腔保健センター、広島歯科衛生士専門学校教務を経て、現在フリーランス。2004年産能大学(現・産業能率大学)経営情報学部卒業、2006年広島大学大学院社会科学部専攻卒業、マネジメント専攻卒業、マネジメントマスター。DMS Hiroshima代表

